

2024 年 4 月 25 日

各 位

日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合

日本インパクト投資 2 号ファンドによるロジックモデルの刷新と 2023 年度インパクトレポートの公開

日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合（以下、「はたらく FUND」）は、この度、ファンドの最終的な目標（スーパーゴール）を実現するための道筋を示すロジックモデルを刷新するとともに、ファンド全体が創出するインパクトと、投資先 11 社のインパクト測定・マネジメント※1（以下、「IMM」）の進捗をまとめたインパクトレポートを公開いたしました。

「はたらく FUND」は、新生インパクト投資株式会社および一般財団法人社会変革推進財団を共同運営者とし、株式会社みずほ銀行をアドバイザーに迎え、多数の機関投資家さまにご出資いただき運営しております。「子育て・介護・新しい働き方関連事業」へのインパクト投資※2 を行い、投資先事業者の成長支援やインパクトの拡大を目指しています。

今回のロジックモデルの刷新は、本ファンドとして、これまで 5 年間の投資活動を通じて得た学びを振り返り、今後の投資先企業への伴走支援やエグジット、インパクト投資のエコシステム構築に関する活動、そして本ファンドの人材や情報といった非財務資本の強化などにおける意思決定において、ファンドメンバーの活動指針として活用することを目的に行いました。

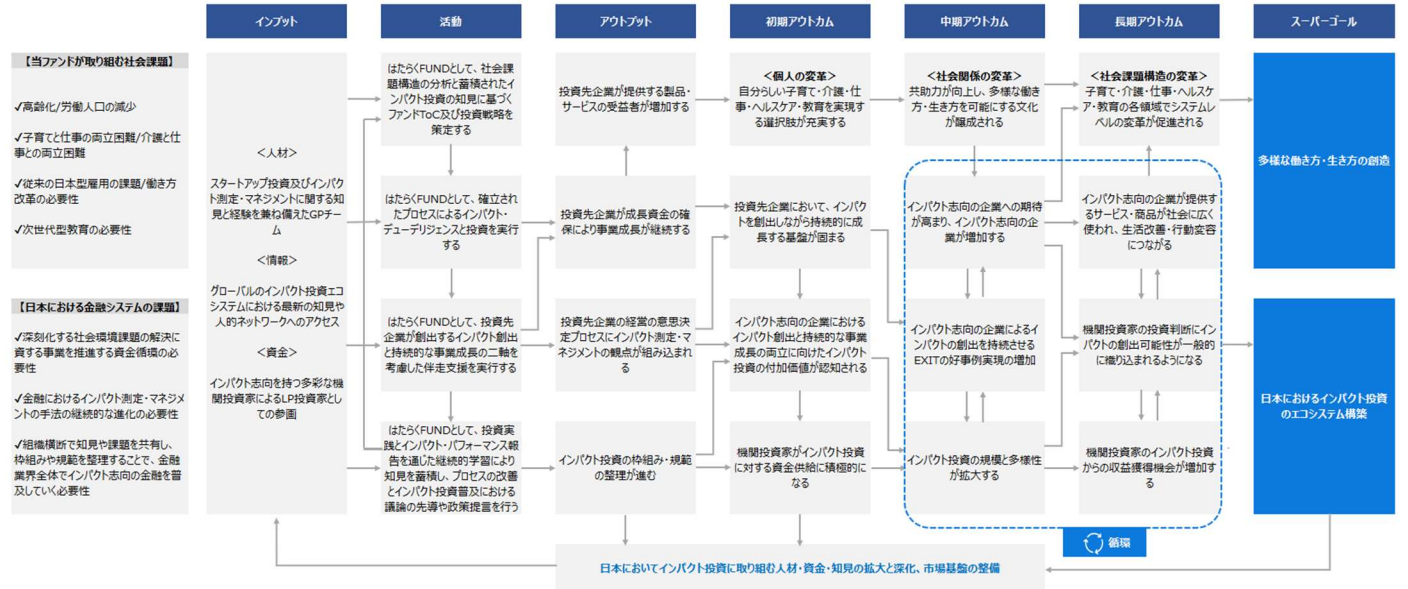
刷新したロジックモデルでは、本ファンドの二つの目的である、投資家として投資先企業を通じて実現する「多様な働き方・生き方の創造」をすることと、日本で多様な外部投資家が参加する本格的なインパクト投資ファンドの先行事例として「日本におけるインパクト投資のエコシステム構築」に貢献することをスーパーゴールとしました。インプットとして、本ファンドがスーパーゴールの実現に向けて活動をする上での重要かつ強みとなる財務・非財務資本を分析し、「人材」「情報」「資金」として整理しました。その上で、日本が直面する社会課題や金融システムの課題に対し、インプット、活動、アウトプット、アウトカム、スーパーゴール実現への貢献の過程に関する変革仮説の解像度を高めました。

はたらく FUND は、2019 年の設立初年度より、毎年インパクトレポートを公開してきました。2023 年度のインパクトレポートにおいては、刷新したロジックモデルに加え、国内外のインパクト投資を巡る最新動向と本ファンドのインパクト投資のエコシステム構築活動、ファンドによる IMM の実践進捗、インパクト・マネジメント運用原則 (Impact Principles) の署名と第三者機関による独立検証を踏まえた IMM プロセスの開発・改定の進捗、新規投資先の株式会社 Antway と BPO テクノロジー株式会社も加えた各投資先の IMM の進捗などを報告しています。

※1 ビジネス上の活動が人や地球に与えるポジティブとネガティブの両方の影響を特定し検討することを含み、その上で自身の目的と整合させつつネガティブな影響を低減し、ポジティブな影響を最大化する方法を見出し、実践する反復的なプロセス

※2 財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的及び環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資行動

【はたらく FUND ロジックモデル(2023 年度更新版)】



【はたらく FUND インパクトレポート 2023】

<http://hatarakufund.com.testrs.jp/test/wp-content/uploads/2024/04/公開版はたらく FUND インパクトレポート 2023 年度.pdf>



【はたらく FUND の概要】

- 名称 : 日本インパクト投資 2 号投資事業有限責任組合 (通称、「はたらく FUND」)
- 設立日 : 2019 年 6 月
- 無限責任組合員 : 日本インパクト投資 2 号有限責任事業組合
- 無限責任組合員 : 新生インパクト投資株式会社
- 組合員 : 一般財団法人社会変革推進財団
- アドバイザー : 株式会社みずほ銀行
- 期間 : 投資期間 5 年、組合期間 10 年
- 投資対象 : 子育て・介護・新しい働き方関連事業を営むアーリーからレイトーステージ企業
- URL : <https://hatarakufund.com>

以上